

横浜トリエンナーレ会期中、BankART KAIKOで期間限定オープンしている「横浜クリエイティブCOOP」の一角で、3月30日以降の毎週土曜、アーティスト、クリエイター、芸術関係者たちが集まり「創造」と「都市」と「横浜」をテーマにしたレクチャー、相談会、ミーティングなどの交流の場「横浜クリエイターズ・ナイト」をひらきます。ぜひご参加ください！

横浜★ クリエイターズ ナイト

1 横浜クリエイティブCOOP出品者によるリレートーク

2024年3月30日(土) 19:00-
会場: BankART KAIKO ショップエリア
入場無料

参加アーティスト・クリエイター: acatunderbubblewrap、秋山直子、井上尚子、宇田見飛天、大洲大作、大橋文男、orangcosong、かねだゆりあ、キウチアサミ、キム・ガウン、窪田久美子、信耕ミミ、SUZUKIMI、曾谷朝絵、たなかまさき、橋村至星、深沢アート研究所 緑化研究室 カブ、松本秋則、丸山純子、水辺荘、渡辺篤、他

初回は「横浜クリエイティブCOOP」のグッズショップに出店しているアーティスト、クリエイターが集結し、出品参加しているアーティストの活動紹介や、作品や商品の説明などを直接聞けるPRトークと、交流会を繰り広げます。

3 横浜美術シーンはこの半世紀どのようにうごいたか？ 村田真(美術ジャーナリスト)、秋元康幸(BankART1929 副代表)



2024年4月13日(土)
19:00-20:30
BankART KAIKO ショップエリア
1000円 [1ドリンク付]

横浜ではこれまで数多くのアートプロジェクトがチャレンジングに行われてきましたが、その活動がひとつにまとまったアーカイブは少ないと思います。今回はこの約半世紀の間、横浜ではどのように美術シーンが展開したのかを深堀りしたいと思います。実際に横浜で開催された展示やイベントを目撃してきた美術ジャーナリストの村田真さんをお招きし、1970年代から1989年の横浜美術館開館まで、横浜美術館開館から創造都市政策が始まりBankARTが誕生する2004年まで、創造都市政策始動から現在までの3つの時代に分け、それぞれの15-20年間にどこで、なにが起こったのか、どんな時代だったのかを解説いただきます。聞き手にはBankART副代表の秋元康幸さんにも入っていただき、元横浜市職員として行政側のアートプロジェクトの関わりもお話いただきます。

2 そこではできないやりよう

小川希(Art Center Ongoing 代表)、赤井あずみ(鳥取県立博物館主任学芸員)、青田真也(アーティスト)



2024年4月6日(土)
19:00-20:30
BankART KAIKO ショップエリア
1000円 [1ドリンク付]

サイト・スペシフィック。その場所に帰属する作品や置かれる場所の特性を活かした作品やプロジェクト、あるいはその性質や方法を指す、この言葉がアートの世界で使われ出して既に半世紀が経つ。この既に古びてしまった感もある言葉を今一度頼りにし、都市とアートの文脈から「そこではできないやりよう」を考える。



各イベントの予約・申し込みは、こちら



裏面に続く ▶▶

4

創造都市横浜・お悩み相談室

アドバイザー：呉宮百合香(アートコーディネーター/ドラマトウルク)、岡田勇人(NPO法人国際舞台芸術交流センター/オフィスマウンテン)、加藤甫(写真家)、小原光洋(ACY プログラム・オフィサー)、ほか



2024年4月20日(土)
19:00-20:30
BankART KAIKO ショップエリア
入場料:1ドリンクオーダー制

都市を舞台にしたアートプロジェクトに必要な、現場制作スキル、広報、許認可にまつわるノウハウ。その道のプロフェッショナルたちが集まり、情報交換会やお悩み相談へアドバイスする会です。

5

これからどうなる横浜芸術不動産

佐々木龍郎(佐々木設計事務所)、伊藤康文(株式会社泰有社取締役)、長田哲征(オフソサエティ(株)代表取締役)

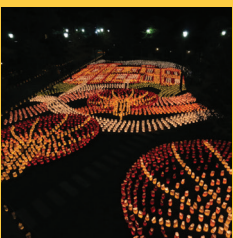


2024年4月27日(土)
19:00-20:30
BankART KAIKO ショップエリア
1000円 [1ドリンク付]

ここは2005年から2006年にかけて「北仲BRICK&北仲WHITE」というネーミングで、たった3ヶ月で集った55組のアーティスト・クリエイターが時限的に屯した巨大シェアスタジオの跡地である。2007年に芸術不動産という言葉が生み出される前に、最も芸術不動産の場所がここにあった、民間オーナーの裁量一つで出現した。もう、こんなことは起こらないかもしれないけど、かたちを変えてその時の思いが未来につながるかもしれない。そのようなことを無責任に話す夜にしたい。 -佐々木龍郎

6

アメリカ山公園で夜ピクニックを楽しもう



2024年5月4日(土)
19:00-20:30
集合場所:アメリカ山公園
(詳細は場所はお申し込み頂いた方にお送りします)
※会場はBankART KAIKOではありません、ご注意ください。
参加費無料

「5月3日、4日に元町・中華街駅駅舎上に位置するアメリカ山公園に、ろうそくを並べて地上絵を描く灯明イベントが開催されます。この日しか見られない光のアートを見にいきましょう。」

7

国際芸術祭のこれまでとこれから

木村絵理子(弘前れんが倉庫美術館館長)



2024年5月11日(土)
19:00-20:30
BankART KAIKO ショップエリア
1000円 [1ドリンク付]

弘前れんが倉庫美術館館長の木村絵理子さんをお招きし、国内外の国際芸術祭についてお話しいただきます。アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど様々な国で開催されてきた国際展を数多く見聞されてきた木村さんに、それぞれのテーマ、課題、アーティストたちの視線などを通し、芸術祭とその開催地との関係などを紐解いていただきます。同時に、今回で8回目を迎える横浜トリエンナーレは国内でも歴史の長い国際芸術祭であり、その開催地を拠点とする私たちがそれらをどう受け止めるのか、この芸術祭からわたしたちの都市を逆照射するヒントを探ります。

8

黄金町ON AIR

コーディネーター: スティーブ・フロスト(黄金町エリアマネジメントセンター AIRアーティスト)



2024年5月18日(土)
19:00-20:30
BankART KAIKO ショップエリア
入場料:1ドリンクオーダー制

黄金町では月に一度、AIRアーティストが集いワークショップや制作活動のプレゼンを行う「ON AIR」が開催されています。今回は出張版として、そのうちの一人であるスティーブ・フロストによる参加型ワークショップを行います。

《Unsanctioned Forms of Caring》は、地域や世界の様々な参加者とともにキルトを作るコミュニティ参加型のアート・プロジェクトです。刺し子、刺繍、アップリケの技法を用いて小さな布に人生の感謝や悲しみの瞬間を描きます。最終的にそれぞれの布はカナダの伝統的なキルトへと縫い合わせられます。 -スティーブ・フロスト

9

スペシャル企画! Coming soon!

2024年5月25日(土)



各イベントの予約・申し込みは、こちら

主催:クリエイティブネットワーク(BankART1929、黄金町エリアマネジメントセンター、象の鼻テラス)、横浜トリエンナーレ組織委員会

ウェブサイト:<https://bankart1929.com/life7/yokohamacreativecoop/>

問い合わせ:yokohamacreatorsnight@gmail.com

各イベントの申し込みはこちら

<https://creatorsnight.peatix.com/>

第9回 横浜トリエンナーレ
アートもりもり!